大阪プロバスクラブ

会報　第396号
2024年9月11日発行
Monthly Bulletin of
The Probus Club of Osaka

例会場：ホテルモントレ大阪　06-6458-7111
例会日：2022 年 7 月より毎月第 2 水曜日 12 時～14 時
○創立 2001（平成 13）年 7 月 9 日創立記念式 7 月 16 日
○スポンサークラブ：箕面千里中央ロータリークラブ
○友好クラブ：箕面ロータリークラブ
○会長：山下恵司　○幹事：川端崇且 Tel：090-2702-7212
○事務局：（幹事宅）〒562-0044 箕面市半町 2-5-23
○会報担当：西宮富夫　pxi06603@nifty.com
○大阪プロバスクラブ会報：http://osakapurob.exblog.jp/
○全日本プロバス協議会：https://www.all-japan-probus.com/
（R6 年 8 月の第 11 回総会で決定された新体制）
会長 馬場康博、幹事長 中田雅昭、会計 佐々木浩一
○日本のプロバスクラブ・関西 Blog 版：
http://probuscent.exblog.jp/

R6 年 8 月上旬～R6 年 9 月上旬までの更新分（順不同）

クラブ	会報	記事一部
旭川	会報 229 号	井合典郎会長：新年度方針及びご挨拶、前年度決算報告、新年度予算説明、前年度出席優秀者表彰等、他
東京八王子	プロバスだより第 345 号	定期総会（事業実績報告、決算報告、会計予算案、会則改定案等可決承認）、例会：私の健康術第 1 回「私の健康管理」岩島寛会員、投稿「ともに語り合うひと時を」池田ときえ、ハッピーコイン、他
姫路南（二水会）	会報 124 号	6 月例会卓話「蘇った日本製鉄」田中会員、7 月例会卓話「終活とエンディングノート」益田会員、「お寺で転んだ」川本祥子、万葉集より皆様にお馴染みの歌や面白い歌をご紹介します（川本記）、他
神戸北	6 年 9 月例会のご案内	8 月卓話「童謡・浜辺の歌」のエピソード監崎章会員、「ひとこと」山田信子会員、他
大阪	会報第 395 号	年次総会（活動報告、事業計画、決算報告等承認）、理事役員一覧表配布、近況報告「松阪・本居宣長記念館へ行ってきました」（内容一部筆者ブログ記事「古事記神世七代の段は古代大阪がモデル」）西宮富夫会員、他

今回　第 397 回 通常例会　2024 年 9 月 11 日（水）
会場：ホテルモントレ大阪　12：00～14:00

●大阪プロバスの歌（作詞：渡辺　孟　補詩：田村徳郎）

① プロバスクラブへ集まろう　気の合う仲間とお昼時
元気に歌おう会の歌　第二の人生また楽し
② プロバスクラブに集まって　優しく気軽に話そうよ
見せたい自慢の得意技　遊びのプランもまた楽し
③ プロバスクラブに集まれば　高まる奉仕の心意気
世界に広がる和の願い　明日も愉快に生き抜こう

●『虫の声』（文部省唱歌）

あれまつむしが　ないている
チンチロチンチロ　チンチロリン
あれすずむしも　なきだして
リンリンリンリン　リインリン
あきのよながを　なきとおす
ああおもしろい　むしのこえ

前回　第 396 回　ビアパーティ 2024 年 8 月 21 日（水）
会場：ホテルモントレ大阪　16：00～19:00

◎ビアパーティ
○司会進行：永田慎一会員
○ソング：吉川栄子会員　**●『月』**
○山下恵司会長挨拶：8 月は五所川原で全日本の総会があり、その後恐山他を観光しました、他。
○川端崇且幹事報告：広報委員会より名刺配布。11 月会長指名委員会を開催予定、他。
○出席報告：出席委員長より参加 35 名（会員 14 名、元会員 2 名、ゲスト 19 名）との報告。
○誕生月：8 月田中浩三会員（右）、山下恵司会長（左）

◎ビアパーティ
○司会進行：浅山紀久子会員
○乾杯：箕面千里中央ロータリークラブ増田俊会長
●食事タイム（ワイン約 10 本提供も以下 2 本のみ紹介）
ワイン 1. たこシャン 2022
ワイン名：たこシャンスパークリングワイン中辛口日本

ワインラベル

画像：Wa-Syu 記事「たこシャン 2022」

（以下、文引用元：ワイン通販の世界のワイン葡萄屋記事「たこシャン taco-cham」）
たこ焼きのためのスパークリング！？ユーモア溢れるのはネーミングのみ！瓶内二次発酵で造る“ほんまもん”の味わい！
生産者：カタシモワイナリー（カタシモワインフード）明治初期に葡萄栽培をスタート。果樹園の経営と並行しながら大正 3 年(1914 年)に前身となる「カタシモ洋酒醸造所」を設立。研究を続けていた葡萄酒の製造販売を開始しました。（中略）いつの時代も常に新しい試みを取り入れる革新的な経営で、日本のワイン造りを牽引して来

ました。（中略）「河内ワイン」や「柏原ワイン」などの地域ブランドの立ち上げや、大阪独自の品種の開発も進め、土地の個性を反映したワイン造りに邁進しています。

ワイン 2.オートコートドニュイルプリュレ

ワイン名：オート・コート・ド・ニュイ ル・プリュレ［2021］

Aurélien Verdet Hautes-Cotes-De-Nuit Le Prieure

ワインラベル

生産者オレリアン・ヴェルデ

生産者：オレリアン・ヴェルデ

（文画像とも川越角屋酒店サイト記事 Aurélien Verdet Hautes-Cotes-De-Nuit Le Prieure より引用）

1604 年からこの地に住むヴェルデ家は、父アラン・ヴェルデが 1971 年よりビオロジック農法を開始し、ブルゴーニュの中でも自然栽培の先駆者として知られています。（中略）「私より強い自然志向」と父のアランも太鼓判を押すオレリアンは、畑には自然肥料しか与えないことで土中の生命を活発化させ、そこから生まれるブドウの特性を引き出しています。

生産地：ブルゴーニュ、コートドニュイ

（以下、文・画像とも：ワインの通販 COCOS のブログ「ブルゴーニュワイン 地方全体の産地特徴を基本から」引用）

「私はブルゴーニュワインが大好き！」という人の考えるブルゴーニュの範囲は狭いです。そういう人たちは十中八九、**「コート・ドール」を指してのみブルゴーニュと考えています。** ブルゴーニュ地方の中の、「コート・ド・ニュイ」地区と「コート・ド・ボーヌ」地区を合わせて「コート・ドール ＝ 黄金の丘」と呼びます。

◎吉岡邑玲&Fredy Flourez の演奏

（左）吉岡ユリ　　（右）Fredy Flourez

曲目：①知床旅情、②ナタリー（Fredy solo）、③椰子の実（吉岡 solo）,④ひまわり、⑤キサスキサス、⑥その名はフジヤマ。⑦エル・クンバン・チェロ

1. 椰子の実（世界の民謡・童謡「椰子の実　やしのみ　歌詞の意味」より引用）

作詞：島崎藤村　作曲：大中寅二。（中略）1898 年（明治 31 年）夏、東京帝国大学 2 年だった柳田國男は、伊良湖岬の突端で 1 カ月滞在していた際、海岸に流れ着いた椰子の実を見つけた。「風の強かった翌朝は黒潮に乗って幾年月の旅の果て、椰子の実が一つ、岬の流れから日本民族の故郷は南洋諸島だと確信した。」

柳田國男は、親友だった島崎藤村はこの話にヒントを得て、椰子の実の漂泊の旅に自分が故郷を離れてさまよう憂いを重ね、歌曲『椰子の実』の詩を詠んだという。

2. キサスキサスキサス（Wikipedia より引用）

題名の「キサス」は「多分（おそらく）」という意味。歌詞は「男性が恋人の女性にいろいろと問いかけるが、女性はいつも『多分』としか答えてくれない」といった内容。英語では *"Perhaps, Perhaps, Perhaps"* となっている。1958 年にナット・キング・コールが歌い、再度ヒットする。

3. その名はフジヤマ（文引用元：港町のカフェテリア旅の友 ポップス編より）

『その名はフジヤマ』　トリオ・ロス・パンチョス

この曲は 1960 年暮にトリオ・ロス・パンチョスが二度目の来日を果たした時に（中略）アントニオ・古賀のために作った曲だと言われています。（中略）日本語の歌詞はみナみかズみ（後の安井 かずみ）が担当、バック・コーラスはコロンビア専属のハニー・ペアでした。（中略）また、西語の歌詞の内容は、パンチョスの日本に対する望郷を思わせるものでした。

4. エルクンバンチェロ（文引用元：吹奏楽の人気曲を解説）

「エル・クンバンチェロ」はスペイン語で、日本語に直訳すると「**口の広い盃（クンバ）をたたく男**」となります。意訳すると「飲んでお祭り騒ぎをする人」「人々がお祭りで浮かれ騒ぐ様子」を描いているといわれています。（中略）エル・クンバンチェロは、特に吹奏楽でよく演奏される楽曲として有名であり、高校野球の応援でもよく披露されています。吹奏楽で演奏される曲の中では難易度は高めであり、よくコンクールの課題曲などにも選ばれます。

◎五所川原旅行報告（参加者：山下恵司会長、川端崇且幹事、永田愼一会員、田中浩三会員）

2024 年 8 月 8 日全日本プロバス協議会第 11 回総会・五所川原大会が開催されることから山下会長を始め 4 名の会員が会議に出席した。その後数カ所観光したとの旅行幹事田中浩三会員より写真等で報告があった。

（Google Map より作成）

1. 全日本プロバス協議会第 11 回総会・五所川原大会

〇第 11 回総会 15：00～16：00、五所川原大会（懇親会）16：00～17：45

懇親会

〇立佞武多見学 18：30～21：00

（以下、文引用元：青森県観光情報記事「五所川原立佞武多」）

巨大な山車が力強いお囃子と「ヤッテマレ！ヤッテマレ！」の掛け声のもと、五所川原市街地を練り歩きます。立佞武多の特徴は何と言ってもその巨大さ。大きいものだと高さ約 23m、重さ約 19 トンもある山車は、その圧倒的迫力で沿道の観客を魅了します。一台一台がテーマを持ち、それを表現するために細かな造形と鮮やかな色使いが施されています。

五所川原市で毎年 8 月 4 日～8 日に行われる立佞武多は青森、弘前とともに青森県三大佞武多とされています。運行は、五所川原市中心部の「立佞武多の館」に展示している 3 台の大型立佞武多と町内・学校・愛好会などでつくられる中型小型のねぷたと合わせ 15 台前後が出陣。

2. 恐山・浅虫温泉

★恐山（以下、文・画像とも恐山 Wikipedia より引用）

恐山は下北半島（青森県）の中央部に位置する活火山である。カルデラ湖である宇曽利山湖の湖畔には、日本三大霊場の一つである恐山菩提寺が存在する。霊場内に温泉が湧き、共同浴場としても利用されている。恐山を中心にした地域は下北半島国定公園に指定されている

★恐山菩提寺（画像引用元：同上）

（以下、文引用元：青森県観光情報記事「恐 山 霊 場 ／ 恐 山 菩 提 寺 」）

「恐山霊場／恐山菩提寺」は地獄の風景と極楽の風景が広がるあの世に最も近い場所。比叡山・高野山とともに日本三大霊山といわれる。地元では古くから「人は死ねば恐山に行く」と言い伝えられてきました。（中略）三途の川にかけられた太鼓橋を渡って霊域に入ると、死後の世界のような風景が広がります。極楽浄土を思わせる美しさの極楽浜、硫黄臭が立ち込める地獄谷、荒涼とした無間地獄、血の池地獄…。賽の河原には亡くなった幼い子供を弔うために両親が積んだ石や、くるくるとまわる風車があり、もの悲しさが漂います。

恐山菩提寺山門

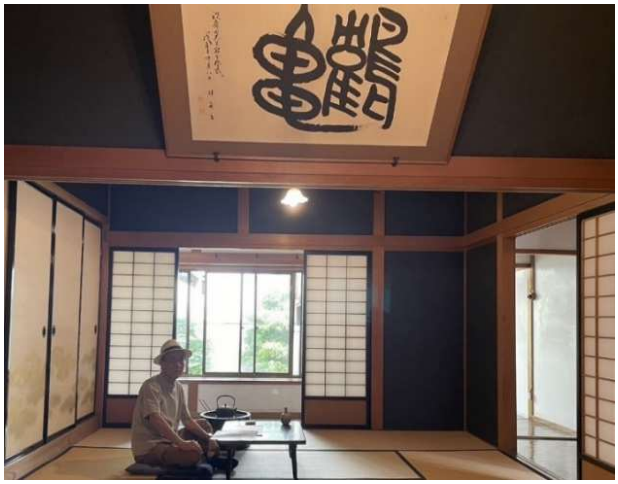
★浅虫温泉　南部屋・海扇閣（心安らぐ陸奥湾の眺め、津軽三味線が楽しめる宿）

（以下、文引用元：浅虫が満喫できる温泉宿　南部屋・海扇閣（なんぶや・かいせんかく）公式 HP）

平安時代に慈覚大師（円仁）により発見された温泉は、布を織る麻を蒸すためだけに使われていました。1190 年にこの地を訪れた円光大師（法然）が、傷ついた鹿が湯浴みするのを見て村人に入浴をすすめ、それ以来人々に利用される 温泉名も麻を蒸すことに由来し、「麻蒸」が転じて「浅虫」になったといわれています。

3. 太宰治・竜飛岬

★太宰治疎開の家（旧津島家新座敷）



（以下、文引用元：太宰治疎開の家〈旧津島家新座敷〉公式ホームページ）

〈津島家新座敷〉は 1922 年(大正 11)の建築。当初は生家(現･斜陽館)の奥に渡り廊下で繋がる、太宰の長兄夫婦のために建てられた離れ屋敷でした。室数 5 つの数寄屋造り。洋室の両側に二間続きの和室を配し、洋窓のサンルーム、寄木の床や鴬張りの廊下など父 源右衛門の力の入れようが伺えます。この離れは、のちに戦禍を逃れて疎開した太宰が終戦直後に数々の創作をした家であり、文壇登場後の居宅としては唯一現存する建物でもあります。太宰が没した 1948 年、90m東の現在地に曳家されたため、それから長い間にこの町の人たちも離れの存在を忘れるようになっていました。

★竜飛岬・津軽海峡冬景色

（以下、文引用元：”海と日本 project in 青森県”記事「国際海峡の津軽海峡を望む竜飛岬」）

作詞家阿久悠が作詞し、演歌歌手の石川さゆりが歌った『津軽海峡冬景色』。歌の冒頭「上野発の夜行列車おりたときから　青森駅は雪の中」。ここまで、東京の上野から青森駅に移動し、青森駅には雪が降っていたという情景しか描写されていません。それなのになぜか哀愁が漂い夜行列車の寂しさや列車の中の情景まで想像できてしまいます。『津軽海峡冬景色』には日本人独特の情景というか、何と表現していいのか分からない不思議な力があります。（中略）

竜飛岬には本州と北海道を結ぶ海底トンネルの青函トンネル（全長 53.85 キロ）が通っています。青函トンネルは建設当初から新幹線規格で建設されたため、2016 年 3 月に開業した北海道新幹線が走っています。

「津軽海峡冬景色」歌碑

以上

次回　第 398 回 移動例会　2024 年 10 月 9 日（水）